

○8番 田久保奏愛君

仲津中学校3年、田久保奏愛です。私は、荒れた山を整備して企業を誘致することについて、質問します。

年々山が使われなくなり、荒れている山が幾つも行橋市にはあります。私の家の近くにも覗山という山があり、その山も木が倒れていたりなど、荒れているのが現状です。

添田町さんのほうでは、フォレストアドベンチャーさんという企業を誘致し、ことし4月にオープンしました。そこで行橋市も添田町さんのように企業を誘致すれば、行橋市も栄えるし、自然と触れ合う場面ができ、山も整備されてよいと思うのですが、執行部はどのようにお考えでしょうか。

○後半議長 遠藤優奈君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

田久保議員のご質問にお答えいたします。

まず、行橋市の森林面積を先に申し上げますと、1,270ヘクタールということになります。何だか分かるような、分からないような、でもそれなりに広いということですね。そして農林水産課では、現在、森林に関しまして、2つの取り組みを行っております。

1つ目は、市内で最も大きい森林がある、まず椿市の入覚地区という所があるんですけども、こちらの樹木の伐採や竹の間伐ですね、竹は特に広がっていきますから、こういったところを考えると竹を刈るわけですが、そういったものを行って、生態系の維持や水資源の確保、そして森林機能の再生に取り組んでおります。

2つ目は、稲童地区から長井地区の海岸沿いに松林があるんですけども、これに松くい虫というのが出てきて、すぐに松の木が枯れてしまうというのがあるんですけども、こういったものを防ぐために枯木の伐採等々を行っております。また農作物の塩害被害を防止するといったことも行っております。

議員のお住まいの近くの覗山、私もこの山、どうにかできないかということで、就任当時ちょっと考えて、それこそ市民の方からも公園にできないかとか、そういったご意見も実際にあがってきた例もあります。私自身も、子どものころからアスレチックが好きで、そういったものがないかと、実際に考えたんです。フォレストアドベンチャーなんかも実は考えたりもしたんですけども、いま県内で言うと糸島と、そして添田町にできましたよね。また日豊線沿いで言いますと別府のほうにもあります。実際に私もフォレストアドベンチャーに行ったことがあります。ちょっとお金は高いんですけどもね。

そういうものを経験して、やはりこういったのがあればいいなと思うんですけども、一方でいま申し上げた県内にもいま複数箇所あるということで、県外も含めると3箇所くらい、この地域にはあるということで、果たして行橋市に持つて来ることができるかどうかというところは、また考えなければいけないなと思います。

それともう一つ、視山に関して言うと、やはり飛行場が近くにありますので、音の問題というのは、どういうふうに対処していくかというところも課題としてはあるのかなと思っております。

いずれにしても、こういった民間企業の施設を招いて来るとなると、やはり費用がかかるのと、きょうこれもずっと申し上げてきているように、民間企業が果たしてそこでしっかりと稼いでいけるのか、そういったところも考えていかなければなりません。

ただ、議員ご指摘のように、山がどんどん荒廃していくというのは全国的な問題でありますので、これをどのように対処するのかというのは、我々もいま取り組んでいるのは、先ほど申し上げたようにありますけれども、さらに一步踏み込んで考えていく必要があると思っております。以上です。

○後半議長 遠藤優奈君

田久保議員。

○8番 田久保奏愛君

もし、フォレストアドベンチャーのような遊び場ができないとしたら、他に森林をきれいなかたちで残していける取り組み、例えば地元住民が集まって自然を利用したり、清掃活動を行って保全につながるようなことは、考えられませんか。

○後半議長 遠藤優奈君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。実はいま実際に地元の方々にご協力いただいて、草刈りをやったり、木の剪定、伐採を行ったりしているような地域もございます。

例を挙げますと、市内では2つのボランティア団体がありまして、福岡県の森林と書いて、これは、もりと読むらしいんですが、森林づくり活動補助金、こういったものを活用しまして、森林保護の取り組みを行っていただいております。引き続きこういった取り組みは推進していきたいと思っております。

そして、インスタグラムとかはしていますか。

(田久保君「はい」の声あり)

その中で、沓尾学校というのを調べてみてください。沓尾に地域住民の方々が沓

尾の地域をもっと活性化させていこうという取り組みをやっていまして、沓尾に松山神社という神社があります。沓尾に山があって、その山の山頂に神社があるんです。この参道を整備したりするような活動もなさっています。そしてここをもっと地域の皆さん、ひいては市民の皆さん方に知っていただき、そしてピクニックをしていただいたり、散策をしていただきたい、そういった思いで、いま実際に動かれている市民の皆さん方もいらっしゃいます。

それから、例えば御所ヶ谷というものが津積のほうにありますけれども、そちらのほうは、いま公園として整備していつている最中ですが、こういった所でも地元の皆さん方のご理解、ご協力を大変いただいているところでございます。

それから、宮の杜という所があります。宮の杜に、これはまた奇特新しいおっちゃんたちがいるんですよ。そのおっちゃんたちが、県の補助金なんかもいただきながら、自分たちで、それぞれの分野、大きな企業さんに勤めていた方もいれば、重機、ショベルだとかそういう大きな機械を使える方もいたり、竹細工とか木を使って工作が得意な方もいれば、農業に精通している方もいれば、そういったおっちゃんたちを中心にしたグループがあるんです、里山復帰という、そのグループは、要は森というのは、人が手を入れることによって管理することができるわけですが、荒れた森を切り開いて、そして上手に木を間引いたりして、いろいろな植物もまたさらに植えたりしながら、実は公園をつくっています。公園と言っても、一般的に街中にあるような公園ではなくて、キャンプ場に近いような公園です。

この里山復帰というのも、行橋 スペース 里山復帰で調べたら出てくるんじゃないかなと思います。分からなかったら、後でお教えしますので、ここもですね、実はいま申し上げた、まさに議員がおっしゃっているようなかたちを既に実践されています。いろんなイベントもされています。つい最近ではカブトムシを大量にお子さんたちに配ったりするようなことをやっていると聞いていますけども、そういった方々もいらっしゃいますので、後はやはりそういう民間のやっている活動、市民の皆さんがやっている活動をさらに我々もしっかりと情報をいただいて、PRしていく、そして市民の皆さんに知っていただく、そういったこともしていかなければいけないなと思いますし、またこういう活動をやりたいんだというようなお声があれば、行政としてもできる限り協力させていただきたいと思います。以上です。

○後半議長 遠藤優奈君

田久保議員。

○8番 田久保奏愛君

以上で質問を終わります。

分かりやすい例を挙げて回答していただき、ありがとうございました。